

地域のホームドクターとして みなさんの健康を守りたい



内科、外科、整形外科を専門とする「中妻クリニック」。田中院長は、救急病棟や総合病院に長年勤務した経験を持つ。患者さんが気軽に身体の悩みを打ち明けられるようなクリニックを目指していると語ってくれた。



Nakazuma
CLINIC 中妻クリニック

埼玉県上尾市中妻 5-12-5
TEL 048-770-0722 URL: <http://www.nakazuma-c.com>

対談：院長 田中 郁夫／ゲスト 渡辺 めぐみ

I N T E R V I E W S

渡辺 早速ですが、院長が医者を目指された経緯からお聞かせ下さい。

田中 母方の祖父が鍼灸師をしていましたので、小さい頃から医療には興味があったのです。私は飽きっぽい性格のようでした(笑)、長く続けていけそうな仕事はなんだろうと考えた時、医者が頭に浮かんだのです。人を相手する仕事なら、毎日新鮮な気持ちで仕事に向かうことができるのではと、子供ながらに考えたんですね。

渡辺 院長は何を専門にしていらっしゃるのでしょうか。

田中 外科系に進みたいと思っていましたが、私が進学した防衛医科大学には当時、珍しい救急部が新設されましたね。そちらの先生が良い方で、救急部に入りました。救急病棟と言われて、イメージは湧きますか？

渡辺 ええ、ドラマで見かけるのとなく…。とても忙しく、一刻を争う緊張感のある病棟なのでしょうね。

田中 そうです。運び込まれるのは緊急処置を要する患者さんばかり。渡辺さんの仰る通り、一刻を争う現場であり、時間をかけてゆっくり病状を推測する余裕はありません。いかに迅速にその人の状態を見極め、治療に入るかがポイントでした。毎日が刺激的でやり甲斐のある現場でしたが、私は患者さんとゆっくり向き合いたくて医者になったことや、「もっと早くに診せにきてくれれば」と、医者としてもどかしさも強く感じるようになら

なったのです。そして、別の病院に移って10年間勤めたあと、独立して「中妻クリニック」を開業しました。

渡辺 こちらの診療科目は？

田中 内科、外科、そして整形外科です。小手術については、局部麻酔で治療できる病状であれば対応できますし、水流式マッサージベッドとマイクロ波による温熱治療も行っています。

渡辺 どのようなクリニックを目指していらっしゃるのですか？

田中 患者さんが気軽に聞きたいことや

言いたいことを口にできるクリニックですね。身体に関する悩みや率直な気持ちを、聞かせて頂きたいのです。ご自身の身体ときちんと向き合って頂けるよう、的確なアドバイスを送り、必要な情報を提供できる場でありたいですね。

渡辺 最後に今後の抱負を。

田中 地域のみなさんの健康を支えるホームドクターとしての役割を果たしていきたいですね。地域に密着した医療を、今後も提供していく構えです。

(取材／平成17年8月)

適切な処置を施せる医者になりたい

「たとえ完治させることはできなくても、初期段階で適切な処置を施してさしあげられる医者になりたかった」と医者を目指すようになられた頃の気持ちを話して下さった田中院長。目の前で人が倒れた時に迅速に適切な処置ができる医者になりたいと、以前は救急部に勤めておられました。人を助けたいという強い気持ちをお持ちですね。地域住民のホームドクターとしてみなさんの健康を守っていきたいと仰っていた院長。地域のみなさんの心強いサポートとして歩まれることでしょう」



和やかな雰囲気の中で行われた対談後の記念撮影